

2022 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和4年7月25日

法人名

園名

社会福祉法人照治福祉会

摂津峡認定こども園

まとめ

全体平均

4.41

第2章第2節 乳児期の園児の保育	乳児期において、育児担当制保育を導入することで保育教諭と子どもとの間に生まれる愛着関係を大切にしています。今年度上半期においては、保育室や職員体制を大胆に変更して新しい環境下での保育となり、まずは子どもとの信頼関係を構築しながら、しっかり一人ひとりと向き合っ保育をすすめています。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	半年を振り返り、色々な活動を通して個々の成長がみられます。個別の保育計画を通してきめ細かい保育を継続していきます。乳児期においては自分の気持ちを行動で表す時期でもあり、かみつきやひっかきをする姿も見られます。その都度丁寧に応答し、子どもの今の気持ちを受け止めた保育をしています。それと同時に環境（保育室、保育等）を振り返り、安心してすごせる環境を常に考えていきます。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	引き続き感染症対策を取り、食事、睡眠、保育室の環境について細心の注意を払いながら教育、保育をすすめています。生活やあそびの中で子どもたちの困り事（ケンカやトラブル等）について保護者と共有しながら、丁寧に対応しています。それにより子どもも保護者も安心して園生活を送ることができていると思います。教育保育活動の中で「おもしろい」「やりたい」「たのしい」が実現できる環境を担任間で会議や対話を通して共有し、これからの活動が充実していけるよう取り組んでいます。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	乳児においては個別指導計画、幼児においては月間保育計画やケース会議においてきめ細かく振り返り、次への計画に活用しています。又、個々の家庭生活における色々な事情に寄り添い、園生活において安心してすごせるように家庭と連携しながらすすめています。
第3章 健康及び安全	日々の子どもたちの安全、安心した生活を下支えしていけるように、「健康支援」「食育の推進」「安全管理」等これらの項目についても積極的に取り組んでいます。これからの大切な課題として災害への備えについても肅々とすすめています。そのためにも毎月の避難訓練の内容についても工夫を加え、必ず振り返りを行い実践して見えてくる課題に取り組んでいます。
第4章 子育ての支援	コロナ禍において利用者が減っていることが現状としてあります。コロナの収束を願いながらも園で出来ることをこれからも積極的に取り組み、子育て家庭の親子が外へ出向いて活発な交流ができるようすすめています。
第5章 職員の資質向上	資質向上のために積極的に内外の研修をすすめています。園が課題とする事柄に添った研修を抜粋し、見通しをもった研修を実施しています。また、園内研修においても職員間の対話を大切にした研修を実施し、その場において職員が対等に対話ができる風土を作っていきたいと思っています。
総合	今年度前半の教育保育の取り組みは、月日と経験を重ねようやく落ち着きはじめています。後半に向けての教育保育の充実を図るために子どもの"今"に寄り添いながら教育・保育計画を進めていきます。乳児においては日々の育児行為を丁寧に取り組み、職員間の意識を一つひとつ確認しながら対話をもってすすめています。又、幼児においてはコーナー保育の広がりや深まりを追求しながら、子どもも保育者も楽しいと感じられる取り組みをすすめています。又、全体として職員の働き方について、その意義について今の気持ちが出し職員全体で取り組めるような風土をつくっていききたいと思っています。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	5.00
「3歳未満児保育」	32	4.63
「3歳以上児保育」	53	4.36
「教育保育の配慮事項」	16	4.06
「健康・安全」	29	4.31
「子育ての支援」	18	4.17
「職員の資質向上」	9	4.33
計	172	4.41

データグラフ

